



# 神奈川の

# こくほ・かいご

地域の健康、明るい未来！みんなで受けよう特定健診

 かながわ TOP 紹介より

歯科医師国保組合の今

神奈川県歯科医師国保組合 理事長 小澤 孜

vol. 393



# かながわ TOP 紹介



## 歯科医師国保組合の今



神奈川県歯科医師国保組合  
理事長 小澤 孜

歯科医師国保組合は、全国に27組合あり、被保険者数の少ない20府県がまとまって全国歯科医師国民健康保険組合（全国歯）を構成して1組合となる以外は、26道府県が単一の国保組合となっております。その27組合で全国歯科医師国民健康保険組合（全歯連）を組織し、被保険者総数は30年度現在、27万2232人、本組合は1万6752人で単一組合では大阪、愛知に次いで三番目の被保険者数となっております。

財政上は歳入面では、国民健康保険料、国庫補助金、高額医療費共同事業交付金、県・市支出金などが主なものとなっております。国庫補助金については、平成27年度までは給付費に定率32%の補助がありました。平成27年5月の国保法等の一部改正で、組合被保険者の所得水準によって、全歯連の中で組合ごとに14%から32%の10段階に補助率が細分化され、28年度から32年度まで5年間かけて段階的に下げられること

になっております。本組合は32年度には16%の補助率まで下がることとなります。健康保険適用除外承認を受けて加入している組合特定被保険者に関する補助金については、医療分は13%の補助率、後期高齢者支援金分及び介護納付金分に関わる補助金については、被用者保険における後期高齢者支援金・介護納付金の総報酬割の導入に合わせて補助率が減率されており、この部分は協会けんぽよりも大分少なくなっております。全歯連合計の歳出面では、29年度決算で保険給付費が歳出総額の約47%を占め、国の方針に沿って支出する部分の後期高齢者支援金は19.8%、前期高齢者納付金は13.3%、介護納付金は9.3%を占め、合計42.4%を占めております。協会けんぽの29年度決算では後期・前期・介護の合計で、41.8%となっており、全歯連の合計率の方が若干多いものの、類似した様相を呈しております。協会けんぽの決算における単年度収支は29年度4486億円の黒字で8年連続の黒字となっており、準備金残高は2兆2573億円に増加す

る見込で、単年度収支の黒字は8年連続ということですが、これも法定積立金が限度額を超えて積み上がった場合は、国庫補助率16.4%相当を翌年度の補助から減額するとし、29年度の補助削減額は321億円となっております。国が直接的に関与している協会けんぽは赤字にならないよう支えしており、安定的運営が容易で、最近では保険料率を下げるような意見も出ておりました。本組合は28年度からの定率補助の削減に備えて、歯科医師国保組合設立の原点に戻って自家診療の給付制限をし、傷病手当金の支給限度日数を設定した上で、保険料の値上げをしております。そのことから30年度は黒字決算見込で、31年度予算における保険料の医療分については、取り敢えずは据え置くことができますが、補助率が16%となる次の年度は検討せざるを得ない状況にあります。今の歯科医業は治療内容に整合しないような低い診療報酬点数の下に地域医療に貢献しており、安易に保険料の値上げをすることも躊躇せざるを得ない状況にもあります。

# CONTENTS

- 01 かながわ TOP 紹介  
神奈川県歯科医師国保組合  
理事長 小澤 孜
- 03 保険者紹介コーナー  
三浦市  
「三浦市は、  
人よし、食よし、気分よし」
- 07 健康わがまち  
伊勢原市  
「『生涯にわたって誰もが健康で  
暮らしていくことができる  
健康文化都市』をめざして」
- 09 日本大通り発  
神奈川県健康医療局保健医療部  
がん・疾病対策課  
「受けていますか？ がん検診」
- 11 こくほ随想  
「疾病の連鎖を断つ保健事業」  
岡山 明
- 13 国保連ズーム UP!  
福祉事業課  
平成30年度 神奈川県派遣職員の実施報告、  
国保中央会派遣職員の近況報告
- 15 国保直診だより  
国保連発信
- 21 国保連日記帳
- 25 今後の予定／伝言板／編集後記



## ■ 表紙の説明

### 城ヶ島大橋

橋長 575 メートルの城ヶ島大橋は、昭和 35 年の竣工当時、東洋一と言われました。三崎港の対岸を漁港用地とする計画に先立ち、漁港施設として架けられた橋です。大型漁船の出入りを妨げないよう中央の橋脚間を長くした構造は、優美さも兼ね備え、「かながわの橋 100 選」にも選ばれています。





# 三浦市

## 三浦市は、

## 人よし、食よし、気分よし

### 三浦市 概要

(平成 31 年 1 月 1 日現在)

- 人口：43,042 人 (男 20,662 人、女 22,380 人)
- 世帯数：17,490 世帯
- 面積：32.05km<sup>2</sup>
- 市の花：はまゆう
- 市の鳥：うみう
- 市の木：くろまつ



小網代の森



保険年金課の様子



健康づくりセミナー



特定健診普及キャンペーン(みうら市民まつり)

## ● 国保〔保険年金課〕 ●

### ■ 国保の概要と実施体制

本市の被保険者数及び世帯数は、平成31年1月末現在で1万3506人、世帯数は、7898世帯で加入率は、それぞれ45.18%、31.41%となっております。

市の人口は減少しており、国民健康保険加入者についても人口の減少や後期高齢者医療保険制度の移行等に伴い、減少をしております。

保険年金課は、国民健康保険担当の国保グループと後期高齢者医療保険、国民年金、福祉医療の業務を行う医療年金グループがあります。

国保グループは、資格、賦課、給付、特定健診等で5名、臨時職員は4名、収納は、税務課の職員が兼務で3名、保健指導等は、健康づくり課の保健師・管理栄養士が兼務という形で連携をとりながら事業を行っております。

### ■ 保険財政の状況

平成29年度の国民健康保険特別会計の決算は、歳入決算額が74億594万6256円、歳出が73億2237万1103円で、前年度と比較すると、歳入2.5%、歳出は2.4%減少しています。

平成30年度予算額は62億9309万3千円で、国保制度改革の影響もあり、前年度予算と比較して20.6%減となっております。

被保険者数は減少傾向にあり、予算規模も縮小しておりますが、一人当たりの医療費は、増加傾向にあ

り、財政運営は、まだ、厳しい状況にあります。

平成30年度から国民健康保険制度が大きく変わり、保健事業費等納付金、標準保険料率が示されております。

将来に渡って国民健康保険事業の安定的な運営を行っていくため、平成30年度より標準保険料率に沿った改定を行いました。今後も標準保険料率に沿った改定を行っていく予定です。

### ■ 効率的な収納対策の推進

本市の平成29年度の保険料収納率は、現年度分が91.21%で前年度比0.77ポイント増、滞納繰越分が23.90%で前年度比0.07ポイント減となっております。

徴収率向上の取り組みとしては、年度の滞納整理方針を策定し、計画的な滞納整理業務の進行管理の徹底を図ります。

具体的には、高額、悪質な滞納者に対しては、債権の差押を中心とした取り組みを、また低額、初期滞納者には早期の文書催告を実施しております。

また、納税環境の整備等の取り組みとして、コンビニ収納実施、口座振替の加入促進等を引き続き行い、更なる徴収率向上に向けて努めております。

### ■ 特定健診等の保健事業

#### 〈特定健診〉

平成30年度より「三浦市国民健康保険データヘルズ計画(第2期)三浦市国民健康保険特定健康診査等実施計画(第3期)」を策定しました。

### ■ 市の概要

三浦市は、昭和30年1月1日に、三崎町、南下浦町及び初声村が合併し、誕生しました。

三浦半島の最南端に位置し、三方を海に囲まれ、1年を通じて温暖な気候で過ごしやすいまちです。

近年では、世界的な観光ガイドのミシュラングリーンガイド・ジャポンで2つ星を得た「城ヶ島」や

アカテガニ、ホタルなどの希少種を含む多くの生き物たちを観察できる「小網代の森」、2月上旬から3月上旬頃には河津桜を見ることができます。

水産物では、三崎マグロ、松輪サバ、農産物では、ダイコン、キャベツなどが有名で豊かな自然と食の恵み豊かなまちです。

# 保険者 自慢

## チャッキラコ

毎年、1月15日の小正月に三浦三崎の仲崎地区・花暮地区で、豊漁や商売繁盛、家内安全を願って、女性のみで踊られている民俗芸能で、大人の女性の唄に合わせて少女たちが舞扇やチャッキラコと呼ばれる綾竹をもって踊ります。

※ チャッキラコは、昭和51年5月に国指定重要無形民俗文化財に指定。平成21年9月30日にユネスコ無形文化遺産登録。



平成29年度の特定健診受診率は22・2%（前年比0・1%増）、特定保健指導利用率は32・3%（前年比4・1%増）となっております。特定保健指導は、県内平均は、超えています。目標には達していない状況です。

特定健診については、県内で下から2位という位置であり、依然として低い水準にあります。

受診率向上の取り組みとしては、従前から実施している受診勧奨ハガキの発送や健康診査・がん検診の普及啓発を目的としたキャンペーンなどを中心として受診勧奨を行いました。

平成30年度の新たな取り組みとしては、神奈川県国保連合会の「特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業」の活用、保健衛生委員の研修会にて特定健診受診勧奨の協力依頼、人間ドック事業の開始時期を6月から5月に変更し期間の拡充を図りました。

また、特定保健指導についても、結果報告会への不参加者や個別・人間ドックにおける保健指導対象者に対する電話や手紙などの送付による勧奨を実施し、保健指導の利用を促すよう努力をしています。

### 〈糖尿病の重症化予防〉

糖尿病患者の増加は、高齢化が進む中で生活習慣と社会環境の変化に伴う糖尿病患者数の増加が課題となっております。

糖尿病の重症化予防の取り組みは、平成27年度より実施をしており、平成30年10月より三浦市医師会のご

協力を得て医療機関と三浦市が連携を取っています。

具体的には、特定健診の結果、治療が必要な場合には、市から医療機関へ、治療中の方で保健指導、栄養指導が必要な場合には医療機関から市へ連絡票を通じて、対象者の方にご案内しています。

その後の経過も医療機関と市で情報を提供しあい、少しでも糖尿病の患者が減るよう取り組んでおります。

### ● 介護（高齢介護課） ●

#### ■ 介護保険の状況と実施体制

本市の介護保険第1号被保険者数は1万6417人、要介護・要支援認定者数は3056人で、居宅介護（介護予防）サービス受給者数は1757人、地域密着型（介護予防）サービス受給者数は626人、施設介護サービス受給者数は467人です。（平成31年1月分介護保険事業状況報告数値）第7期計画における介護給付費の推計については、平成30年度は約48億円を見込んでおり、その後、2019年度は約51億円、2020年度は約54億円、2025年度には約63億円となる見込みです。

また、第7期計画における介護保険料の月額基準額は5716円で、第6期計画の基準額を据え置きすることとなりましたが、2025年度には8107円となる見込みです。

今後は、介護予防、自立支援・重度化防止の推進とともに、介護給付の適正化についてもさらなる取組強化



三浦市庁舎



高齢介護課の様子



フレイルチェック



元気アップ教室

を行う予定です。  
高齢介護課は、介護保険グループと高齢者支援グループの2つのグループからなり、職員12名、介護認定調査員4名、非常勤職員3名の職員体制で行っています。

■「元気なまち・みうら」をめざして

本市では、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の将来推計において、2020年には高齢者人口が1万6932人、高齢化率は39.3%、2025年には高齢者人口が1万6388人、高齢化率は40.7%と、2.5人に1人が高齢者になると見込んでいます。それに伴い介護給付費も毎年度増加しており、介護予防に関する施策が、更に重要となっています。

現在、高齢者がこれからも元気に活躍し住み慣れた地域で生活を継続できるように支援するため、地域の身近な会館等で健康づくりに取り組むことができる「元気アップ教室」や気軽に集い会話を楽しむことができる「ふれあいサロン事業」を行っています。

なかでも「元気アップ教室」は、高齢者の介護予防に関する知識と指導経験が豊富な健康運動指導士を各会場に派遣し、週に1回、定期的な運動を実施しています。

また、継続的な参加により効果を実感することができるよう、年に1度は体力測定を実施し、経年の測定結果をまとめた個人票を作成・配布したり、庁内の管理栄養士・歯科衛生士と連携しながら、介護予防の講

話も行っています。会場は、市民センターのほか、地域の会館等10会場に13クラスを開設しており、運動の効果を実感した参加者の口コミや、参加者の希望から実施回数を増やす等対応したことにより、参加者延人数は増加傾向にあります。平成29年度では555回、延8235人もの方が参加され、介護予防に対する意識は高まっているものと考えます。

また、平成29年度から、年齢を重ねるとともに起こる心身の虚弱状態にある高齢者を早期発見する手法であるフレイルチェックを実施しており、平成31年1月末現在、8回開催し164人の方が参加しています。

一方、フレイルチェックを担うフレイルサポーターの養成については、三浦市社会福祉協議会と連携し、養成研修を開催しており、現在、フレイルサポーターの人数は38人となっています。

今後は、閉じこもり傾向などの特に介護予防が必要な方を早期発見し地域の「元気アップ教室」といった集いの場につなげたり、普段から介護予防に取り組んでいる方の評価指標として、フレイルチェックを活用するといった仕組みづくりを行っていきます。

介護予防は、行政や地域包括支援センターを始めとする関係機関との連携のみならず、地域住民の理解や協力が不可欠です。今後も、地域ボランティアを育成・活動支援しながら、地域全体で「元気なまち・みうら」をめざしていきます。

国保・介護  
の  
連絡先

● 三浦市ホームページアドレス

<http://www.city.miura.kanagawa.jp/index.html>

● (国 保) 保険年金課

電話 046-882-1111 FAX 046-882-2836

● (介 護) 高齢介護課

電話 046-882-1111 FAX 046-882-2836

「生涯にわたって誰もが健康で暮らしていくことができる健康文化都市」をめざして

健康づくり課  
保健師 坂野 日和

伊勢原市



健康  
わがまち



大山

自然豊かな  
首都圏に通えるまち

神奈川県ほぼ中央に位置する伊勢原市は、南部を平塚市、西部を秦野市、北東部を厚木市と接し、東西間に東名高速道路、国道246号、小田急電鉄が走っています。東京からは東名高速で40分、小田急で新宿から60分、距離にして東京から50キロメートル、横浜から45キロメートルの位置にあり、首都圏の近郊都市として重要な役割を担っています。

総面積55.56平方キロメートルのうち山林原野が約3分の1を占め、その恵まれた自然環境と温暖な気候から、県内はもとより広く関東一円の人々の憩いの地となっています。丹沢大山国定公園の一角に位置するシンボル「大山」を頂点として、東部には豊かな平野部が広がり、鈴川、善波川、日向川、歌川といった清流が大地を潤しています。

人口は10万2383人。高齢化率は25.6%（平成31年2月1日現在）。近年人口推移は横ばいとなっています。

健康いせはら21(第3期)計画、  
第3次伊勢原市食育推進計画

伊勢原市では平成30年度に「生涯にわたって誰もが健康で暮らしていくことができる健康文化都市をめざします。」を基本理念とした、「健康いせはら21(第3期)計画」、また「食で育むいのちときずな―健康寿命の延伸につながる食育をめざそう―」を基本理念とした、「第3次伊勢原市食育推進計画」を策定いたしました。両計画共に5年間の期間で、市民の健康づくりと食育を推進していきます。

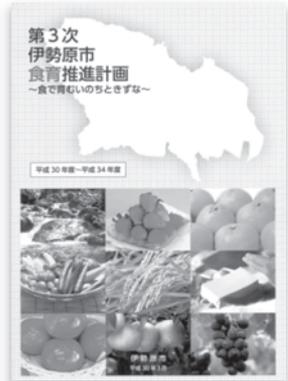
未病センターいせはら(通称「クルリン健康測定コーナー」)の開設

伊勢原市役所分室一階ホールのスペースを利用して、神奈川県から認証を受け、平成30年8月に「未病センターいせはら「クルリン健康測定コーナー」」を開設しました。

骨量測定装置・体組成計・自動血圧計・身長計・握力計を設置し、「未病」の改善に取り組んでいます。希望する方は、保健師や管理栄養士の相談を受けることができ、延べ730人(平成31年1月まで)の方にご利用



健康いせはら21(第3期)計画



第3次伊勢原市食育推進計画

いただいています。

「骨密度が気になっていたので測定できてよかった」また、体組成測定では「筋肉量まで測定したことがなかった」など話を伺うことができ、市民が自分の身体を知る良い機会となっています。

また、東海大学健康学部の学生が実習の一環として来庁者に声かけを行い、未病センターの周知を行うことがあります。学生の協力がある場合は、通常の利用人数より4倍以上増加することもあります。

また東海大学医学部と連携し、骨量測定装置や体組成計、血管年齢測定等の健康測定機器を持参し、希望する自治会へ出向く「健康バス測定



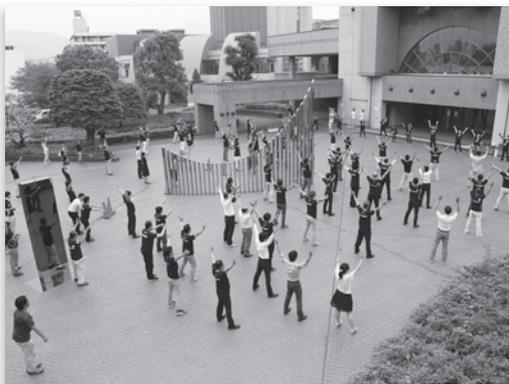
未病センターいせはら(通称:クルリン健康測定コーナー)

会」も行っていきます。測定終了後、参加者全員へ保健師が個別に測定結果や、生活面の改善などを伝えることに合わせ、健康診査の必要性を理解してもらい、受診につなげることを目指しています。

### すこやかリズム体操の普及

昭和63年に気軽にできる伊勢原市独自の体操として作成され、現在は学校や地区運動会等で行われています。

平成27年度には、「すこやかリズム体操(どこでも編)」として、高齢者等も負担が少なく、椅子に座って行うことができる体操もつくりました。



すこやかリズム体操(市役所前広場にて)

平成28年2月からは、月2回市民文化会館前広場にて、すこやかリズム体操を行っています。昼休みの時間帯に開催していますので、毎回30名程度の市職員や市民の方などが参加し、健康づくりに努めています。実施にあたっては、健康いせはらサポーターの会市の養成講座を修了した健康に関わるボランティア活動をしている団体の協力を得ています。

### 食育料理コンテストの開催

児童・生徒の食への意識向上を図ることを目的に、伊勢原産食材を使用した料理コンテストを実施しています。

小学生・中学生・高校生部門に分かれて実施し、平成30年度は各部門を合わせ約1600点の応募がありました。入賞作品やそのレシピ集は、市ホームページ「健康ポータルサイト」↓「食育」に掲載されています。第3次伊勢原市食育推進計画に伴い、各課で実施されている食育事業については、食育関係機関の代表等により構成される「伊勢原市食育推進連絡会議」において、評価・検討等を行っております。



食育料理コンテスト 高校生の部の様子

### 今後に向けて

伊勢原市の人口は今後減少し、少子高齢化がさらに進み、2060年には2.5人に1人が65歳以上になると見込まれています。市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」といった意識を持っていただけるよう働きかけを行い、健康でいきいきと元気に生活ができる期間、いわゆる健康寿命の延伸につなげていけるよう、各種事業に取り組んでいきます。

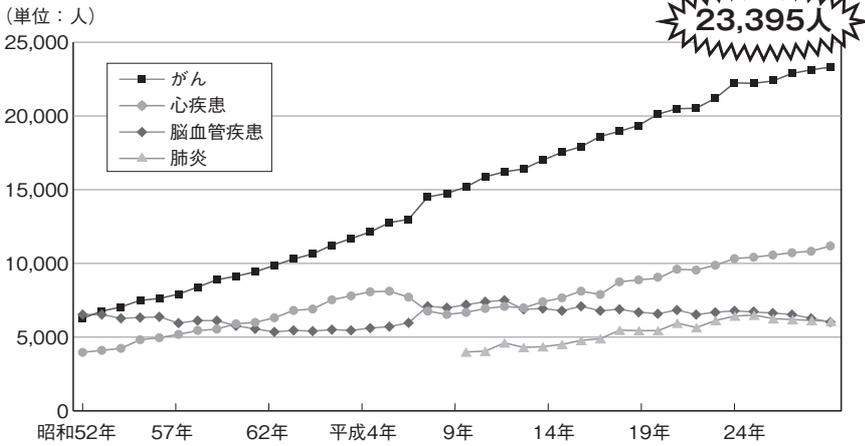
# 受けていますか？ がん検診

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課

## 1 神奈川県におけるがんの現状

がんは、生涯のうち2人に1人がかかるといわれている身近な病気です。神奈川県では、年間約2万3千人ががんで亡くなり、その数は年々増加しています。また、昭和53年以降、死亡原因の第一位となっています。今後、さらに高齢化が進み、がんによる死亡者数はますます増加すると見込まれています。

出典：神奈川県衛生統計年報



## 2 5年相対生存率(※1)

がんは、痛みなどの自覚症状が出る前に発見・治療ができれば、治る可能性が高まります。

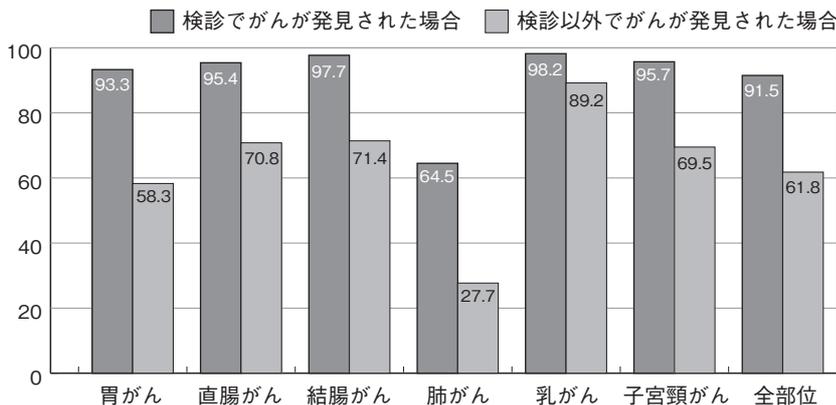
自覚症状がない早期の段階でがんを発見するには、「がん検診」が有効です。がんが検診で発見された場合、5年相対生存率は約9割にのぼります。定期的な検診による早期発見・早期治療が重要です。

(※1) 5年相対生存率…がんが発見されてから、5年後に生存している確率を示したものです。

出典：神奈川県立がんセンター

がん予防・情報学部作成

がんの5年相対生存率(2011年診断患者)



### 3 がん検診とは

がん検診は、自覚症状のない方を対象に、がんの疑いがあるかどうかを調べるために行う検査です。市町村や、加入している健康保険組合等で受診することができます。がん検診を受診していない方の中には、「健康だから受ける必要がない」と考える方や、「がんが見つかるのが怖いので受けたくない」という方がいます。早期のうちにごんを見つければ、定期的な受診を受けることが大切です。部位によって、検診方法や受診間隔、対象となる年齢が異なるため、自分の年齢や性別に合わせて、受診する必要があります。

また、がん検診で「精密検査が必要」と診断されても、精密検査の結果、「異常なし」となるケースも多くあります。万が一がんが発見されても、早期であれば、治療率が高いだけでなく、治療にかかる費用や体への負担も少なくすみます。

〈各市町村のがん検診問い合わせ先〉  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ganyobou/>

[kenshin-toiawase.html](http://kenshin-toiawase.html)

#### 〈主ながん検診の内容〉

検診の種類	検診の内容	受診間隔	対象
胃がん	カメラが付いたチューブを口や鼻から挿入し、胃の中を直接観察するか、バリウムを飲んで胃のX線写真を撮ります。	2年に1回	50歳以上 男女
大腸がん	採取した便に潜血があるかどうかを検査します。	年1回	40歳以上 男女
肺がん	肺のX線写真を撮ります。	年1回	40歳以上 男女
子宮頸がん	子宮の頸部から細胞を取って、顕微鏡で検査します。	2年に1回	20歳以上 女性
乳がん	専用の装置(マンモグラフィ)により、乳房のX線写真を撮ります。	2年に1回	40歳以上 女性

### 4 がん検診の受診率

本県では、「がんを知り、がんに向き合い、がんの克服を目指す神奈川づくり」を基本理念とした「神奈川県がん対策推進計画」(平成30年度～平成35年度)において、平成35年度までに対策型検診として行われているすべてのがん種(胃がん、大腸がん、肺がん、

子宮頸がん、乳がん)におけるがん検診受診率を50%以上とすることを目標として掲げています。

また、平成27年度に市町村が実施したがん検診における精密検査の受診率は、胃がん75・28%、大腸がん63・56%、肺がん76・93%、乳がん88・02%、子宮頸がん73・60%であり、胃がん・乳がん・子宮頸がんについては、全国平均よりも低い数値です。

#### ■がん検診受診率向上に向けた県の取り組み

こうした現状を踏まえ、本県ではがん検診受診率向上に向け、企業等と連携しながら様々な取り組みを行っています。

##### (1) 企業との連携

企業の健康づくり担当者に対し、「職場でのがん検診の受診促進」をテーマにした研修会を開催しています。また、アフラック、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、住友生命保険相互会社と協定を締結し、神奈川県がん対策推進員認定制度(※1)などに取り組んでいます。

(※2)平成29年3月より、がん対策に関する包括協定を締結した企業等の社員のうち、県が指定する研修を修了したものを「神奈川県がん対策推進員」に認定

し、県民に対して、直接、がんに関する情報提供を行うことで、がん検診の受診率の向上や、がんへの理解促進及びがん患者への就労拡大を図るもの。

##### (2) イベント

「ピンクリボンかながわ」では、キャンペーンや県庁本庁舎等のライトアップによる乳がん検診の普及啓発を行っています。また、県民の皆様を対象とした「がん克服シンポジウム」を県内医療関係団体等とともに開催しています。

今後も、本県では、より多くの方にがん検診を受けていただけるよう、受診促進の取り組みを展開していきます。



## 疾病の連鎖を断つ保健事業

合同会社 生活習慣病予防研究センター

代表 岡山 明

### 高額医療を防止する 保健事業の重要性

医療保険者の保健事業は、健康な状態である人の健康増進事業と高額医療防止のための保健事業に区分することができる。前者は公衆衛生の基本的な考え方に基づいて、長く実施されてきた事業である。これに対し後者の高額医療防止のための保健事業とは、高度の異常がみられる未治療者や治療中であつても高額医療に結びつく可能性が高いコントロール不良の人に、積極的な支援を行つて高額医療の発生を防ぐ考え方に基づく事業で、その重要性が近年強調されてきている。

### 血糖のコントロールが悪い状態が 継続すると合併症へ進展

その中でも糖尿病性腎症には人工透析など的高額な医療が必要となるため、全国レベルで対策が推奨されており、透析となる可能性の高い被保険者を抽出して、生活習慣の改善などを通じ透析導入の時期を遅らせるための保健事業が実施されている。

糖尿病の合併症は、血糖のコントロールが十分でない期間が長く続くことにより進展すると考えられている。したがって合併症の進展は罹病期間と強い関連があり、腎症などの合併症はいったん進行すると元の状態に戻すことは困難である。言い換えると合併症は徐々に進行する病気だと考えるこ

とができる。また糖尿病の合併症の進行は、その人の過去の治療状況を反映することも知られている（レガシー効果）。治療初期のコントロールが良ければその後の合併症を予防でき、逆にコントロールが悪い状態だとその後の合併症が起こりやすくなる。

### 糖尿病治療初期から名簿管理 することで重大な疾病を予防

レガシー効果に着目すると、罹病期間が長く合併症の可能性が高くなった人だけに保健事業を実施するのでは、糖尿病の合併症予防には不十分だといえる。治療開始の初期から対策することで、はじめて「糖尿病→糖尿病性腎症、脳卒中、心筋梗塞」などの重大な疾病の連鎖を断つ保健事業が可能とな

る。そこで糖尿病の治療初期から、合併症を予防する取り組みを行う考え方が成立する(下図)。治療中の糖尿病患者の名簿を作成管理して、治療を開始して5年以内、さらに5年ごとに事業を実施する。被保険者の加入期間を通じて糖尿病の合併症予防を系統的に行うものである。

糖尿病は高血圧と比較すると頻度が少ない。高血圧の頻度は高く、60歳以上では半数近い人が高血圧であり、その年代の40%程度が治療しているため、治療中の高血圧者全員を管理することはかなり大変である。それに比べて治療中の糖尿病患者は人口の数%程度だと考えられているので、コントロールの悪い糖尿病患者に限って5年に1回の保健指導を行うのであれば、現実的な数になると思われる。

**対策が必要な対象者を絞り込み、継続的なフォロー体制を保つ**

疾病の連鎖を断つ保健事業を行うための第一歩は、現在治療中で健診未受診の被保険者の受診を促すことである。健診の結果があれば、血糖や血圧などの値から治療中の被保険者のコントロール状況

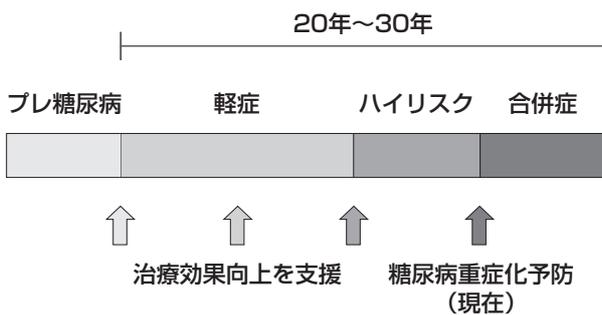
を推定できる。また一度でも健診を受診し血糖などの異常所見があった人には、その後健診を受けなくても継続的にフォローする体制を持つことも重要である。

さらに糖尿病の治療開始時期を把握することも大切である。通常の健診では治療の有無のみで治療開始時期を調査しないため、追加的な調査をする。

健診の結果からコントロール状況を把握することができ治療期間がわかれば、対策をとるべき対象者を絞り込むこともできるだろう。

記事提供 社会保険出版社

### 理想的な糖尿病の重症化予防



岡山 明 おかやま あきら

合同会社生活習慣病予防研究センター 代表  
日本循環器病予防学会 理事  
国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長  
滋賀医科大学社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授  
岩手医科大学 非常勤講師  
日本大学医学部 兼任講師

#### 【学歴】

1978年 東京大学教養学部基礎科学科卒業  
1982年 大阪大学医学部医学科卒業

【免許等】 1982年 医師免許取得

【学位】 1989年 医学博士(大阪大学)

#### ■プロフィール

生年月日:1955年8月24日

#### 【職歴】

1983年 大阪大学医学部 助手(環境医学講座)  
1989年 滋賀医科大学医学部 講師(保健管理学講座)  
1994年 滋賀医科大学医学部 助教授(福祉保健医学)  
1999年 岩手医科大学 教授(医学部衛生学公衆衛生学)  
2004年 国立循環器病センター 予防健診部長  
2007年 財団法人結核予防会 第一健康相談所長  
2014年4月 国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長  
2014年5月 生活習慣病予防研究センター 代表  
2016年7月 一般社団法人適塩・血圧対策推進協会 代表理事

#### 【専門分野】

循環器疾患の要因、予防に関する研究。循環器疾患の地域差の推移に関する研究。循環器疾患発症登録による急性循環器疾患の発症・予後の把握に関する研究。生活習慣病の予防のための健康教育の方法論やその普及に関する研究。特に、高コレステロール血症、耐糖能異常、禁煙教育の効果的な実施方法の研究と普及に興味を持つ。

#### 【受賞】

2014年2月 遠山椿吉記念 第3回 健康予防医療賞受賞  
2014年6月 第29回日本心臓財団予防賞  
～「生活習慣病に対する総合的保健指導法の開発と普及」における実績より～  
2014年12月 日本総合健診医学会 H26年度優秀論文賞  
「特定保健指導の効果評価と対照設定の方法に関する研究」

# 国保連 ズ→ムUP!

今回は、

## 福祉事業課

の紹介です!



福祉事業課は、福祉事業係、障害者支援係で構成されており、福祉事業係は職員1名、再任用職員2名、パート職員1名、障害者支援係は職員5名、嘱託職員1名、再任用職員1名で業務を行っています。

それではそれぞれの業務について簡単に説明します。福祉事業係では、出産育児一時金業務及び福祉医療(柔道整復施術療養費、鍼灸・マッサージ)業務を行っております。まず出

産育児一時金とは何かというところからお話しします。出産は一般的な疾病とは異なり、健康保険の加入者であっても健康保険を使うことが出来ません。つまり、本来であれば全額自己負担ということになりますが、出産費用については健康保険から補助が出るようになっていきます。この助成金のことを出産育児一時金といえます。被保険者が退院時に出産費用の全額を一時的に支払うことは被保険者には大きな経済的負担となります。これらの軽減を図るため保険者から医療機関へ出産育児一時金の支払いを直接的に行うための「直接支払制度」があり、私たち福祉事業係では出産育児一時金の受付・支払業務を市町村との委託契約に基づき行っています。福祉医療につきましても、柔道整復施術療養費、鍼灸・マッサージの施術に係る療養費において、健保組合や協会けんぽ等、国保または後期高齢者医療以外の保険に加入し、神奈川県内の市町村医療費助

成を受けられている方の請求受付・支払業務を行っています。

障害者支援係では、障害者総合支援法に基づくサービス、児童福祉法に基づくサービスを提供している指定障害福祉サービス事業所からの請求受付、審査、支払業務を行っています。請求方法は100%伝送であり、結果通知、その他帳票等に関する紙での授受は行っておりません。その意味では請求事務の最先端を走っている?と思っております。

以上、業務概要についてご紹介いたしました。今後も皆様のご協力のもと、福祉事業の円滑な運営に努めていきたいと思っております。

### お問い合わせは

#### 福祉事業課

##### 福祉事業係

TEL. 045-329-3472

(福祉医療)

TEL. 045-329-3460

(出産育児一時金)

##### 障害者支援係

TEL. 045-329-3416



青木 雅人 (在職年数：19年目)

- ・国保連合会での前所属課：情報管理部共同電算課
- ・神奈川県庁での所属課：保健医療部医療保険課

平成30年度の国保制度改革を見据えて始まった神奈川県庁医療保険課への研修員派遣。

その2人目として、29年度から2年間、県庁にて業務に従事させていただきました。

国保連合会では、保険者事務共同処理担当として10年を超えたタイミングであり、自身の知識と経験を活かせればと思い、県庁に行くことを決めました。

配属された国保指導グループは、名前のとおり、県における国民健康保険の主管課として、各国保保険者や

国保連合会と協力して制度の運用にあたっています。

保険者からの照会に対する回答や、県を通じて国等へ行う交付金等の申請といった、慎重を期する業務が多々有り、不安はありましたが、一緒に仕事をする方に恵まれ、どうにか任期を全うできました。

会議運営などで多大な協力をいただいた保険者の方も含め、お世話になった方々に感謝いたします。

今後は、この2年間の経験を活かし、国保事業運営の力になれるよう業務にあたっていきたいと思っています。



遠藤 拓也 (在職年数：15年目)

- ・国保連合会での前所属課：情報管理部システム管理課
- ・国保中央会での所属課：医療保険部国保総合システム開発課

平成29年度より国保中央会へ派遣され、国保総合システムの運営・開発に従事しています。

国保中央会では、保険者、連合会の方々但至少でも使い勝手の良いシステムとなるよう、連合会での業務経験を活かしながら知恵を振り絞っている毎日です。

最近では、高額療養費の見直し・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業における費用算定・エラーチェック等のシステム対応に携わっており、連合会では経験できない業務をさせていただき非常に貴重な財産となっているこ

とを感じます。

また、連合会から離れることによって連合会全体を俯瞰して見ることができ、新たな連合会の魅力を感じるなどの嬉しい発見や、自分一人の知識では限界のあった場面を保険者、連合会の方々に助けていただき、その暖かさを改めて感じたことも貴重な経験と感じております。

連合会に戻った際には、国保中央会で得た知識や経験を還元し、少しでもより良い環境を構築できればと思いながら残りの派遣期間を過ごしていきたいと思っています。



生熊 裕介 (在職年数：13年目)

- ・国保連合会での前所属課：情報管理部共同電算課
- ・国保中央会での所属課：医療保険部新国保保険者システム課

私が国保中央会での派遣を希望した理由は、入社12年目が経ち外部の機関で「自分自身を成長させたい」と思ったことがきっかけでした。国保連合会ではシステムの部署に携わり、国保中央会にて開発されたシステムを使用して業務を行ってまいりました。業務を行っている中で「保険者の要望に添うシステムは何なのか」を考えることがあり、システムを構築している現場にて学び、経験した上で意見を発信できるようになれば、今後の業務に役立てていくことができると思い希望い

たしました。

国保中央会では新国保保険者システム課に配属となり、国保事業費納付金等算定標準システムの間合せ、サポートサイトの掲載、機能改善検討等の業務を行っております。内部打合せにて案件整理、進捗状況が徹底しているのが1人で抱え込むことはない環境です。

残された派遣期間を大切に、多くのことを吸収し経験したことを伝えていけるよう業務に取り組みます。

## 神奈川県国民健康保険診療施設運営連絡協議会・診療施設部会

1月15日(火) 国保会館

神奈川県国民健康保険診療施設運営連絡協議会では、2018・2019年度の役員（副会長）の選出の後、各診療施設における運営状況と課題について意見交換が行われた。

診療施設運営連絡協議会閉会后、引き続き本会診療施設部会が開催され、診療施設部会から選出する2019・2020年度の診療施設部会役員の

選出が行われた。その後2018年度診療施設部会研修会交流会の会計報告、続いて2019年度茅ヶ崎市立病院が開催担当の診療施設部会研修会の概要について説明が行われた。また、国保診療施設に係る事業の本会の経費の見直しについて、2020年度から本会の関プロ診療施設協議会に対する見直し案を提示し承認された。



診療施設運営連絡協議会



診療施設部会

## 国保連発信

### 広報委員会

1月21日(月) 国保会館

今回の委員会は、今年度最後ということで、平成30年度に開催した広報委員会の主な協議事項や各広報事業の実施報告、昨年11月に実施したアンケート結果について報告した。

このアンケート結果に基づき策定した「平成31年度広報事業実施計画」について事務局から説明を行い協議いただいた。現在実施している事業は原則継続した上で、ラジオCMについては縮小、新聞広告については廃止とすることで了承された。広報物の中

で、被保険者証更新PRポスターについては、高齢受給者証との一体化のこともあり、今後引き続きの課題とし、来年度1回目の広報委員会で協議いただき決定する。

また、平成31年度の標語について、事務局より4案提案し、協議の結果「年に1度の健康チェック!受けよう特定健診!」に決定した。今回決定した標語は、来年度連合会が作成する機関誌、ポケットティッシュ、事業概要、各種封筒等に使用される予定である。



高橋委員長

## 第2回 在宅保健師研修会

1月24日(木) 神奈川県国保会館

平成30年度第2回在宅保健師研修会を国保会館で開催した。

はじめに、合同会社介護の未来代表 阿部充宏氏を講師に招き、『「さて、そろそろあなた(保健師)の出番です」—人口減少社会で日本はどうなる?…後輩保健師に見せるあなたの背中—』と題して講演いただいた。現在少子高齢化が進み、高齢者世帯の増加に伴い、高齢者の自殺者、交通事故、孤独死も増加し、医療機関で死を迎える人も増えている。そのような中、医療と介護の連携である地域包括ケアシステムの推進と地域づくりが重要となる。しかし、地域包括支援センターなどでは人材不足が深刻化しており、ますます保健師等の協力が不可欠となってくると話された。

次に、公益財団法人神奈川県予防医学協会 健康創造室相談課担当部長 飯塚晶子氏から、『「生活習慣病の重症化予防と介護予防の保健活動」—成人期から高齢期ま

で、きれめのない保健指導を。すべてのリスクとなるたばこの問題とアクティブエイジングの骨太生活を中心に—』と題して講演いただいた。保健師活動は、相手の年齢ごとにサービス体系が変わる。年齢や制度を超えて横につなげていけるのは、保健師の役割に負うところが大きい。生活習慣病の重症化に起因する喫煙に関する保健指導、介護予防としても効果のある骨粗鬆症に関する保健指導について話された。参加者は、禁煙支援マニュアルに沿ったロールプレイを行い、今後の活動に役立てていただくこととした。



合同会社介護の未来 阿部氏



神奈川県予防医学協会 飯塚氏

## 都市・町村・組合部会

1月30日(水)相模原市立産業会館にて都市国保連絡協議会終了後に都市部会を開催し、2月15日(金)町村部会、2月19日(火)組合部会を国保会館にて開催した。

各部会では、はじめに「平成31年度の正副部会長及び関係委員の選出」について、事務局から説明を行い、各委員が選出された。「診療報酬等未調整過誤の対応方針」については事務局の処理方法を説明した。また、「あはき(あん摩・マッサージ・はり灸)療養費受領委任の取扱いに関する請求方法」として、直接保険者窓口で受付される施術機関に周知するため、既に通知している保険者の取り組みを参考に、神奈川県

からも療養費の適正化を図るということも踏まえ協力依頼がされた。

情報提供として、厚生労働省からの資料「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律案(仮称)について」を基に説明した。また、風しん対策について、4月以降、全国の医療機関等で抗体検査・予防接種を実施、6月から国保連合会で費用決済業務開始予定の説明をした。

都市部会・町村部会では、「年度末における普通交付金の処理方法」について、平成31年2月診療分の請求支払処理の概要の説明を行った。



都市部会



町村部会



組合部会

# 神奈川県国民健康保険団体連合会通常総会

2月28日(木)

国保会館

## — 平成31年度事業実施計画・各会計予算について —

2月28日(木)神奈川県国保会館にて通常総会を開催し、平成31年度事業実施計画並びに各会計予算等について審議が行われた。

理事会議決事項の報告 15 件、専決処分の報告 2 件、議決事項 31 件について審議され、すべて事務局原案どおり可決承認された。



内野理事長

### 1 報告事項

#### (1) 理事会議決事項等の報告

- 報告第1号…神奈川県国民健康保険団体連合会役員(理事)の退任について
- 報告第2号…神奈川県国民健康保険団体連合会役員(理事・監事)の退任について
- 報告第3号…神奈川県国民健康保険団体連合会役員の報酬手当及び費用弁償支給に関する規則の一部改正について
- 報告第4号…神奈川県国民健康保険団体連合会職員給与規則の一部改正について
- 報告第5号…神奈川県国民健康保険団体連合会職員給与規則の一部改正について
- 報告第6号…神奈川県国民健康保険団体連合会負担金及び手数料賦課徴収規則の一部改正について
- 報告第7号…神奈川県国民健康保険団体連合会介護給付費審査支払規則の一部改正について
- 報告第8号…神奈川県国民健康保険団体連合会保険者事務電算共同処理業務規則の一部改正について
- 報告第9号…神奈川県国民健康保険団体連合会障害介護給付費等審査支払規則の一部改正について
- 報告第10号…神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会規則の一部改正について
- 報告第11号…神奈川県国民健康保険柔道整復施術療養費審査委員会規則の一部改正について
- 報告第12号…神奈川県国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会規則の一部改正について
- 報告第13号…神奈川県国民健康保険団体連合会表彰規程の一部改正について
- 報告第14号…神奈川県国民健康保険団体

### 2 議決事項

#### (2) 専決処分の報告

- 連合会理事会の議事録公開について
- 報告第15号…神奈川県国民健康保険団体連合会総会の議事録公開について
- 報告第16号…平成30年度神奈川県国民健康保険団体連合会一般会計予算補正
- 報告第17号…平成30年度神奈川県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払(業務勘定)特別会計予算補正
- 議案第1号…平成30年度神奈川県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払(業務勘定)特別会計予算補正(第2次)
- 議案第2号…平成30年度神奈川県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償求償事業特別会計予算補正
- 議案第3号…平成30年度神奈川県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務(業務勘定)特別会計予算補正
- 議案第4号…平成30年度神奈川県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等(障害介護給付費・障害児給付費支払勘定)特別会計予算補正
- 議案第5号…平成30年度神奈川県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務(後期高齢者医療診療報酬支払勘定)特別会計予算補正
- 議案第6号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会事業実施計画
- 議案第7号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合一般会計予算
- 議案第8号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払(業務勘定)特別会計予算
- 議案第9号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払(国民健康保険診療報酬支払勘定)特別会計予算
- 議案第10号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)特別会計予算
- 議案第11号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払(出産育児一時金等に関する支払勘定)特別会計予算
- 議案第12号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務(業務勘定)特別会計予算
- 議案第13号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務(後期高齢者医療診療報酬支払勘定)特別会計予算
- 議案第14号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)特別会計予算
- 議案第15号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務(業務勘定)特別会計予算
- 議案第16号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務(介護給付費支払勘定)特別会計予算
- 議案第17号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)特別会計予算
- 議案第18号…平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等(業務勘定)特別会計予算

平成31年度事業実施計画

- I 重点事項**
- 1 国保制度改革に伴う新たな課題への取り組み
  - 2 診療報酬等審査支払業務の充実強化
  - 3 後期高齢者医療・介護保険及び障害者総合支援に係る各業務の円滑な運営
  - 4 医療費適正化の推進等、保険者支援の充実・強化
  - 5 業務の効率化及び経費の節減並びに適正で透明な事業運営と会計事務の遂行
  - 6 危機管理対策と情報セキュリティ対策の推進
- II 事業内容**
- 1 診療報酬等(国保、後期高齢者医療)審査支払業務の円滑な遂行
  - 2 共同処理事業の効率化・効果的な推進
  - 3 介護保険事業の円滑な運営
  - 4 障害者総合支援給付費等審査支払業務の円滑な運営
  - 5 保険者が行う保健事業に対する支援
  - 6 国保・介護を支える各種事業
  - 7 各種会議の開催
  - 8 業務の見直しの推進及び公正な執行の確保
  - 9 各種会議等への参加

- 議案第19号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等(障害介護給付費・障害児給付費支払勘定)特別会計予算
- 議案第20号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計予算
- 議案第21号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償求償事業特別会計予算
- 議案第22号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会職員退職手当積立金特別会計予算
- 議案第23号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会財政調整基金積立資産の取り崩しについて
- 議案第24号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会職員退職手当積立金の取り崩しについて
- 議案第25号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会国保会館建設資金等積立金の取り崩しについて
- 議案第26号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会減価償却引当資産の取り崩しについて
- 議案第27号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会電算処理システム導入作業経費積立資産の取り崩しについて
- 議案第28号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会運営資金積立金の取り崩しについて
- 議案第29号・・平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会歳計現金預入先金融機関について
- 議案第30号・・神奈川県国民健康保険団体連合会第三次中期経営計画
- 議案第31号・・神奈川県国民健康保険団体連合会役員の選任について

平成31年度神奈川県国民健康保険団体連合会会計予算額

	会計名	平成31年度 予算額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	比較増減(千円)	対前年度比率(%)
1	一般会計	1,112,283	963,480	148,803	15.44
2	診療報酬審査支払(業務勘定)特別会計	4,937,136	4,765,050	172,086	3.61
3	診療報酬審査支払(国民健康保険診療報酬支払勘定)特別会計	595,804,378	621,657,230	△ 25,852,852	△ 4.16
4	診療報酬審査支払(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)特別会計	31,829,235	35,783,340	△ 3,954,105	△ 11.05
5	診療報酬審査支払(出産育児一時金等に関する支払勘定)特別会計	4,032,273	4,410,300	△ 378,027	△ 8.57
6	後期高齢者医療事業関係業務(業務勘定)特別会計	3,936,002	4,024,920	△ 88,918	△ 2.21
7	後期高齢者医療事業関係業務(後期高齢者医療診療報酬支払勘定)特別会計	941,297,742	891,144,500	50,153,242	5.63
8	後期高齢者医療事業関係業務(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)特別会計	1,879,517	1,793,620	85,897	4.79
9	介護保険事業関係業務(業務勘定)特別会計	3,185,087	3,055,190	129,897	4.25
10	介護保険事業関係業務(介護給付費支払勘定)特別会計	652,489,009	645,263,610	7,225,399	1.12
11	介護保険事業関係業務(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)特別会計	8,255,533	8,517,840	△ 262,307	△ 3.08
12	障害者総合支援法関係業務等(業務勘定)特別会計	488,588	438,860	49,728	11.33
13	障害者総合支援法関係業務等(障害介護給付費・障害児給付費支払勘定)特別会計	193,453,349	168,422,180	25,031,169	14.86
14	特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	5,434,095	5,452,310	△ 18,215	△ 0.33
15	第三者行為損害賠償求償事業特別会計	1,540,319	1,426,350	113,969	7.99
16	職員退職手当積立金特別会計	306,900	162,700	144,200	88.63
	合計	2,449,981,446	2,397,281,480	52,699,966	2.20

診療（調剤）報酬実績【国民健康保険】

《11月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
2,035,099	診療費	入 院	34,398	482,292	19,894,577,230	578,364	1.69	
		入院外	1,441,688	2,247,847	21,009,658,000	14,573	10,324	70.84
		歯 科	338,959	615,602	4,417,977,530	13,034	2,171	16.66
	小 計	1,815,045	3,345,741	45,322,212,760	24,970	22,270	89.19	
	調 剤	1,037,075	1,250,350	11,452,993,450	11,044	5,628		
	訪 問 看 護	5,494	35,730	395,066,930	71,909	194		
	食事療養費	32,482	1,231,412	817,756,835	25,176	402		
	合 計	2,857,614	3,381,471	57,988,029,975	20,292	28,494		

《12月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
2,023,817	診療費	入 院	33,002	488,406	19,479,558,560	590,254	1.63	
		入院外	1,440,391	2,199,990	20,508,471,300	14,238	10,134	71.17
		歯 科	342,902	598,873	4,332,953,980	12,636	2,141	16.94
	小 計	1,816,295	3,287,269	44,320,983,840	24,402	21,900	89.75	
	調 剤	1,051,654	1,260,412	11,985,497,960	11,397	5,922		
	訪 問 看 護	5,703	35,529	398,927,770	69,951	197		
	食事療養費	31,232	1,249,003	829,081,620	26,546	410		
	合 計	2,873,652	3,322,798	57,534,491,190	20,021	28,429		

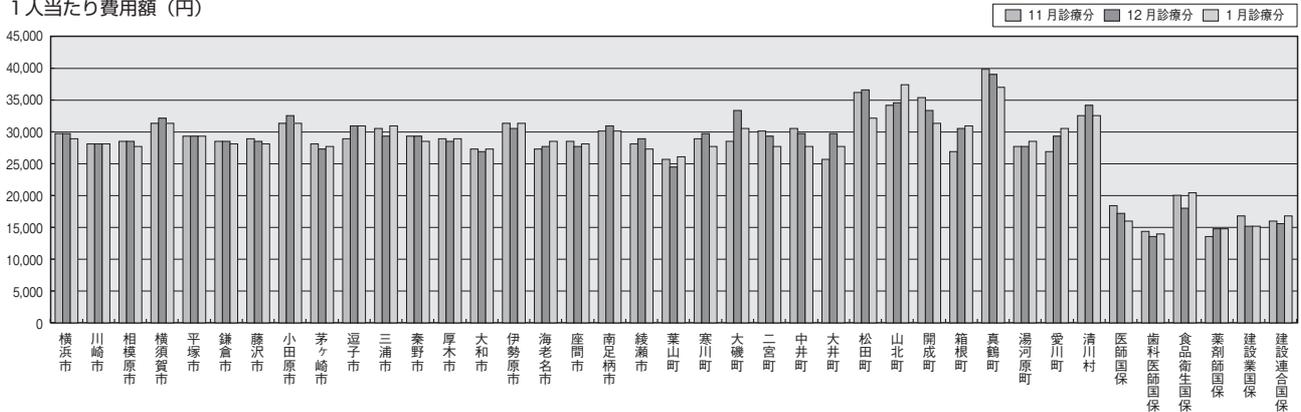
《1月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
2,015,130	診療費	入 院	32,512	484,645	19,457,908,130	598,484	1.61	
		入院外	1,444,268	2,146,822	20,787,852,240	14,393	10,316	71.67
		歯 科	318,649	556,048	3,939,879,270	12,364	1,955	15.81
	小 計	1,795,429	3,187,515	44,185,639,640	24,610	21,927	89.10	
	調 剤	1,053,731	1,239,854	11,378,619,530	10,798	5,647		
	訪 問 看 護	5,673	33,901	377,765,870	66,590	187		
	食事療養費	30,632	1,234,765	819,640,338	26,758	407		
	合 計	2,854,833	3,221,416	56,761,665,378	19,883	28,168		

※ 件数の合計に食事療養費は含まない ※ 日数の合計に調剤・食事療養費は含まない

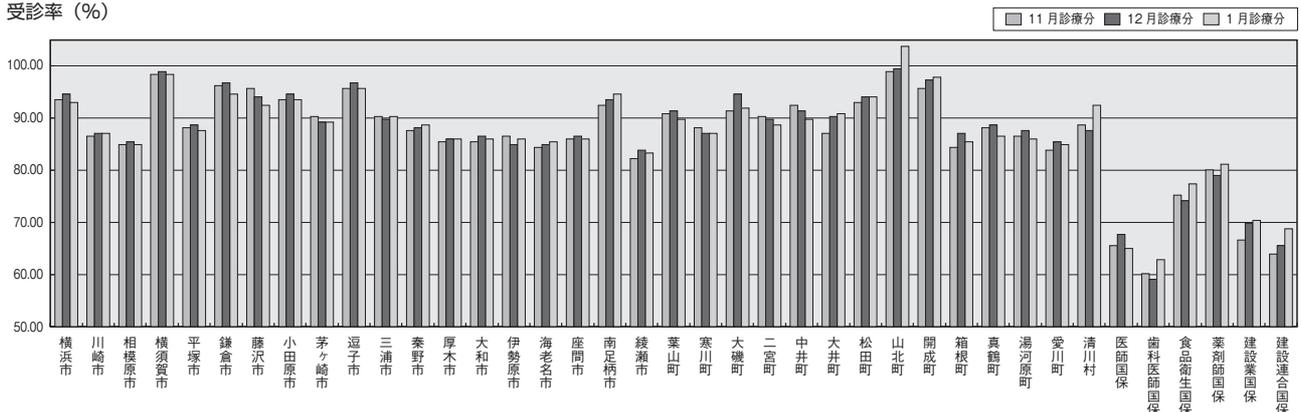
【保険者別1人当たり費用額（一般+退職）】

1人当たり費用額（円）



【保険者別受診率（一般+退職）】

受診率（%）



診療(調剤)報酬実績【後期高齢者医療】

〈11月診療分〉

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,094,774	診療 費	入 院	58,529	888,963	33,833,817,370	578,069	5.35	
		入院外	1,526,356	2,675,980	24,071,313,570	15,770	21,987	139.42
		歯 科	273,264	519,888	3,822,889,560	13,990	3,492	24.96
	小 計	1,858,149	4,084,831	61,728,020,500	33,220	56,384	169.73	
	調 剤	1,158,943	1,476,457	15,137,287,580	13,061	13,827		
	訪 問 看 護	5,245	40,603	471,133,100	89,825	430		
	食事療養費	54,761	2,107,319	1,429,894,029	26,112	1,306		
	合 計	3,022,337	4,125,434	78,766,335,209	26,061	71,948		

〈12月診療分〉

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,098,835	診療 費	入 院	58,412	921,109	34,126,246,590	584,233	5.32	
		入院外	1,527,343	2,609,133	23,519,748,710	15,399	21,404	139.00
		歯 科	276,326	509,366	377,876,047	1,368	344	25.15
	小 計	1,862,081	4,039,608	61,424,755,770	32,987	55,900	169.46	
	調 剤	1,177,675	1,490,932	15,882,055,420	13,486	14,454		
	訪 問 看 護	5,380	40,716	484,206,880	90,001	441		
	食事療養費	54,646	2,190,488	1,486,458,562	27,202	1,353		
	合 計	3,045,136	4,080,324	79,277,476,632	26,034	72,147		

〈1月診療分〉

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1 件当たり費用額 円	1 人当たり費用額 円	受 診 率 %	
1,101,422	診療 費	入 院	58,978	954,216	35,645,039,910	604,379	5.35	
		入院外	1,484,645	2,489,009	23,554,338,270	15,865	21,385	134.79
		歯 科	259,733	471,395	3,397,522,790	13,081	3,085	23.58
	小 計	1,803,356	3,914,620	62,596,900,970	34,711	56,833	163.73	
	調 剤	1,137,748	1,418,429	14,774,823,750	12,986	13,414		
	訪 問 看 護	5,466	39,898	475,546,660	87,001	432		
	食事療養費	54,812	2,272,467	1,541,006,523	28,114	1,399		
	合 計	2,946,570	3,954,518	79,388,277,903	26,943	72,078		

※ 件数の合計に食事療養費は含まない ※ 日数の合計に調剤・食事療養費は含まない

介護給付費の状況

介護給付費統計

(平成30年11月審査分)

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪問通所サービス	366,752	16,866,654,956	14,830,567,580	1,688,302,773	347,784,603
短期入所サービス	22,021	2,173,811,502	1,848,288,091	311,547,984	13,975,427
居宅療養管理指導	134,008	1,093,364,660	957,198,444	111,172,747	24,993,469
地域密着型サービス	64,803	9,008,624,026	7,952,086,345	891,842,777	164,694,904
特定施設入居者生活介護	21,746	4,881,766,058	4,226,516,690	637,851,005	17,398,363
居宅介護支援	198,727	2,651,803,289	2,651,803,289	0	20,345,942
施設サービス	54,764	18,968,326,830	16,118,335,108	2,689,944,050	160,047,672
市町村特別給付	13	74,350	66,915	7,435	0
合 計	862,834	55,644,425,671	48,584,862,462	6,330,668,771	749,240,380

(平成30年12月審査分)

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪問通所サービス	366,123	16,364,984,234	14,392,835,410	1,625,756,046	346,392,778
短期入所サービス	21,515	2,095,297,213	1,782,375,526	297,199,661	15,722,026
居宅療養管理指導	137,441	1,110,733,170	972,574,858	112,598,599	25,559,713
地域密着型サービス	65,261	8,784,857,601	7,755,230,171	871,357,605	158,269,825
特定施設入居者生活介護	21,802	4,741,636,268	4,106,331,382	616,975,447	18,329,439
居宅介護支援	198,424	2,644,551,092	2,644,551,091	0	21,179,755
施設サービス	54,597	18,337,044,296	15,587,647,141	2,594,098,656	155,298,499
市町村特別給付	14	80,970	72,873	8,097	0
合 計	865,177	54,079,184,844	47,241,618,452	6,117,994,111	740,752,035

(平成31年1月審査分)

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪問通所サービス	366,231	15,908,710,637	13,992,948,059	1,575,352,039	340,410,539
短期入所サービス	21,307	2,107,410,062	1,792,149,970	300,536,584	14,723,508
居宅療養管理指導	137,161	1,105,266,260	967,914,425	111,170,535	26,181,300
地域密着型サービス	65,111	8,825,655,217	7,792,175,366	872,013,384	161,466,467
特定施設入居者生活介護	21,819	4,900,484,558	4,242,262,158	641,028,369	17,194,031
居宅介護支援	199,562	2,657,745,471	2,657,745,471	0	21,467,355
施設サービス	54,401	18,872,098,961	16,042,367,176	2,668,405,021	161,326,764
市町村特別給付	9	56,240	50,616	5,624	0
合 計	865,601	54,377,427,406	47,487,613,241	6,168,511,556	742,769,964

# 国保連 日記帳



1/16 保険者協議会  
事業検討委員会

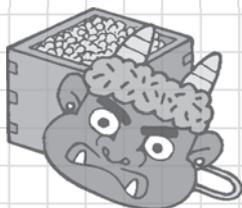


## 2月

- 1日 第40回地域保健師研究発表会 (藤沢市保健所)
- 5日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)
- 6日 運営協議会 (国保会館)
- 12日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)
- 13日 保健事業ブロック別研修(横浜ブロック) (波止場会館)
- 14日 理事会 (国保会館)
- 15日 町村部会 (国保会館)

## 1月

- 8日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)
- 15日 診療施設運営連絡協議会 診療施設部会 (国保会館)
- 15日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)
- 16日 保険者協議会事業検討委員会 (国保会館)
- 17日 第2回保健事業推進協議会 (国保会館)
- 18日 柔道整復施術療養費審査委員会 (国保会館)
- 19日 診療報酬審査委員会(24日) (国保会館)
- 21日 療養費審査委員会 (国保会館)
- 21日 広報委員会 (国保会館)
- 22日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)
- 23日 介護給付費等審査委員会 (国保会館)
- 23日 国保データベース(KDB)システム部会 (国保会館)
- 24日 第2回在宅保健師研修会 (国保会館)
- 24日 神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」役員会 (国保会館)
- 29日 介護サービス苦情処理委員会 (国保会館)
- 30日 神奈川県都市国保連絡協議会・都市部会 (相模原市立産業会館)



1/24 神奈川県在宅保健師会  
「いちょうの会」役員会



1/23 国保データベース(KDB)  
システム部会



2/27 保険者事務電算  
共同処理委員会



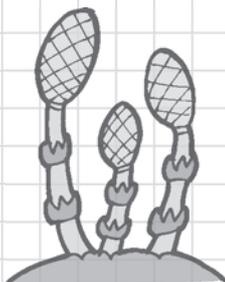
2/14 理事会



2/6 運営協議会

# 3月

- |     |                                   |     |                                    |
|-----|-----------------------------------|-----|------------------------------------|
| 26日 | 介護保険台帳管理支援システムに係る担当者説明会<br>(国保会館) | 28日 | 通常総会<br>(国保会館)                     |
| 26日 | 介護サービス苦情処理委員会<br>(国保会館)           | 27日 | 保険者事務電算共同処理委員会<br>(国保会館)           |
| 22日 | 介護保険部会<br>(国保会館)                  | 27日 | 保健事業ブロック別研修(小田原ブロック)<br>(小田原合同庁舎)  |
| 22日 | 介護給付費等審査委員会<br>(国保会館)             | 26日 | 介護サービス苦情処理委員会<br>(国保会館)            |
| 20日 | 診療報酬審査委員会(25日)<br>(国保会館)          | 26日 | 保健師等専門部会<br>(国保会館)                 |
| 19日 | 介護サービス苦情処理委員会<br>(国保会館)           | 21日 | 保健事業ブロック別研修(平塚ブロック)<br>(平塚保健福祉事務所) |
| 19日 | 療養費審査委員会<br>(国保会館)                | 21日 | 介護給付費等審査委員会<br>(国保会館)              |
| 18日 | 柔道整復施術療養費審査委員会<br>(国保会館)          | 20日 | 診療報酬審査委員会(25日)<br>(国保会館)           |
| 12日 | 介護サービス苦情処理委員会<br>(国保会館)           | 19日 | 組合部会<br>(国保会館)                     |
| 11日 | 第3回保健事業支援・評価委員会<br>(国保会館)         | 19日 | 介護サービス苦情処理委員会<br>(国保会館)            |
| 5日  | 介護サービス苦情処理委員会<br>(国保会館)           | 18日 | 柔道整復施術療養費審査委員会<br>(国保会館)           |



3/22 介護保険部会



3/11 第3回保健事業支援  
・評価委員会

地域のICTのお悩みに。

ICT、相談するなら、

0120-765-000

営業時間 9:00~17:00 年中無休(年末年始を除きます)

ICT 相談



地域の会社を全力サポート



はたらく人をえがおに。

# RPA

ソ  
リ  
ユ  
ー  
シ  
ョ  
ン

PCのデータ操作は人間に任せなければならないと思いませんか？  
今、急速に普及が進んでいるロボットに任せてみませんか？

大量で単純な事務作業にお困りの方



事務員さんの人手不足でお困りの方



## 働き方改革の次の一手！

導入することによる  
4つのメリット

- 1 PC内の作業であればほぼ自動化が可能です
- 2 ロボが働きますのでミスなく24時間仕事ができます
- 3 ロボにできる仕事はロボに任せる  
人手不足の強力なパートナーに
- 4 システム開発よりも安価に効果をすぐに実感できます

※RPAは自発的に考え動きはしません(≠AI)  
詳細な指示(脚本)を与えて動かすロボです

株式会社 **横浜電算**  
システム本部 営業部

☎ 045-311-7581

〒220-0003 横浜市西区楠町 4-7

✉ eigyou@yokohamadensan.co.jp

🖥️ <https://yokohamadensan.com>

## 今後の予定

4月

1日 人事異動

17日 「いちょうの会」役員会

神奈川県国保会館

19日 広報委員会

神奈川県国保会館

## 伝言板

# 健康劇 (健康まつり事業等支援事業)

本会では、保険者を支援する保健事業として健康劇(健康まつり事業等支援事業)があります。神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」の「いちょう座」が上演しており、住民の方々に寸劇をとおして健康教育を行うことを目的としております。シナリオは新たに「糖尿病」が加わり全6作品です。興味のある保険者は本会保健事業課までお問い合わせください。

〈シナリオ〉.....

1. 演目：骨粗しょう症  
題名：「家族みんなで骨元気！」
2. 演目：血管年齢  
題名：「あなたの血管、元気？」
3. 演目：特定健診  
題名：「特定健診、受けて知ろう自分のからだ—転ばぬ先の健康チェック！—」  
① 主婦編  
② 自営業の主人編  
③ 子育て中のママ編
4. 演目：糖尿病  
題名：「糖尿病予備群。脱出、成功!!」



あなたの血管元気？

### 問い合わせ先

保健事業課 保健事業係  
TEL. 045-329-3462 (直通)  
E-mail:hoken@kanagawa-kokuho.or.jp

※ 詳しくは本会ホームページ「いちょうの会」をご覧ください

編

集

後

記

この機関誌が、皆さんのお手元に届く頃には、新元号の発表がされていることでしょうか。

何になつていいのか、気になるのですが、645年の「大化」に始まり、今度の元号が248番目となるそうです。試験やクイズで出題されそうですが、歴史が苦手の私には、頭が痛くなつてきます。

明治からは、一世二元制度で天皇の即位からその死までを一つの元号としていました。江戸時代までの日本の元号は、天皇の代わりごとに変えることもありましたが、災害など、それ以外の要因で変えることもあったそうです。今回は、「生前退位」となり、原則が変わることにはなりそうです。

平成も終わり、新時代、春ということも重なり、皆さんどのように過ごされるのでしょうか。

今年は、ゴールデンウィークも10連休となり、当然「私たちは違う」という方々もいらつしやるでしょうし、羽を伸ばしバカンス満喫という方も...

とりあえず、新しい時代、思い切つて新しいことを始めてみてはいかがでしょう？





# 住民向け啓発冊子のご案内

## ●特定健診の情報提供に

50215  
**特定健診結果  
活用ガイド**



- A4判／12頁カラー
- 監修 和田高士  
(東京慈恵会医科大学大学院  
健康科学教授)

定価 120円(税抜)

50124  
**よりよく活かそう  
特定健診結果**



- A4判／4頁カラー／  
リーフレット
- 編集部 編

定価 40円(税抜)

50247  
**健診結果は  
いかがでしたか？**



- B6変型判／  
8頁カラー／  
リーフレット
- 編集部 編

定価 40円(税抜)

## ●重症化予防の周知・啓発に

31501  
**糖尿病・糖尿病腎症の  
重症化を防ごう！**



- A4判／4頁カラー／  
リーフレット
- 監修 坂根直樹  
(国立病院機構京都医療センター  
臨床研究センター 予防医学  
研究室 室長)

定価 40円(税抜)

31102  
**放っておかない高血糖  
糖尿病の重症化はキケンです！**



- A4判／4頁カラー／  
リーフレット
- 監修 久保 明  
(医療法人財団百葉の会  
銀座医院 院長補佐  
常葉大学健康科学部長・  
教授 医学博士)

定価 40円(税抜)

31001  
**生活習慣病の重症化を防ごう！  
メタボじゃなくても放っておかないで！**



- A4判／4頁カラー／  
リーフレット
- 監修 久保 明  
(医療法人社団湖聖会銀座医院  
院長補佐・抗加齢センター長/  
常葉大学健康科学部教授/  
医学博士)

定価 40円(税抜)

## ●医療費適正化対策

82512  
**見直そう  
重複服薬**



- A4判／4頁カラー／  
リーフレット
- 編集部 編

定価 40円(税抜)

82523  
**あなたも今日から  
医療費削減！**



- A4判／4頁カラー／  
リーフレット
- 編集部 編

定価 40円(税抜)

82402  
**医療機関の適正受診に  
ご協力ください**



- A4判／4頁カラー／  
リーフレット
- 編集部 編

定価 40円(税抜)

## ●在宅医療の周知に

87876  
**在宅療養  
ハンドブック**



- A4判／32頁カラー
- 編集部 編

セミオーダー版

※こちらの商品はセミオーダー版となっております。価格等についてはお問い合わせください。

## ●フレイル予防に

86586  
**3本の矢でフレイルを防ごう！  
〈健康長寿新ガイドラインシリーズ〉**



- A4判／12頁カラー
- 監修  
東京都健康長寿医療  
センター研究所  
健康長寿新ガイドライン  
策定委員会

定価 120円(税抜)

85121  
**知っていますか？フレイルって何？  
〈いつまでも地域で暮らすためにシリーズ〉**



- A4判／6頁カラー／  
リーフレット
- 監修 秋下雅弘  
(東京大学医学部附属病院  
老年病科教授)

定価 60円(税抜)

※ご検討のため見本をご希望の際は、お気軽にご連絡ください。無償で送付いたします(原則1部)。

お問い合わせ ●



株式会社 社会保険出版社

TEL 03(3291)9841

東京都千代田区神田猿樂町1-5-18 〒101-0064



10190884(06)

神奈川の  
こくほ・かいび

Vol.393 番号  
平成31年3月31日発行

編集発行人：安藤 克己 印刷所：コトブキ印刷工業株式会社

発行所：神奈川県国民健康保険団体連合会

〒220-0003 神奈川県横浜市西区南町27番地1  
TEL 045-329-3400  
http://www.kanagawa-kokuhon.or.jp